

「ブレーキとシートベルト」

地球温暖化は「止めるための努力（緩和策）」と「止められなかった場合に備える努力（適応策）」を同時並行で進める必要があります。

1. CO₂削減（緩和策） ブレーキ

- 再生可能エネルギーの普及
- 省エネ製品や省エネ住宅の推進
- 低排出交通（EV、公共交通、カーシェア）
- 森林保全・植林（吸収源の確保）
- メタン・フロンなど強力な温室効果ガス削減
- 食生活の低炭素化（地産地消、フードロス削減）

2. 気温上昇への適応（適応策） シートベルト

- 都市のヒートアイランド対策（緑化・水辺空間）
- 水害・高潮対策インフラの強化
- 干ばつ・熱波に強い農作物の開発
- 高温下での労働安全基準の整備
- 気候災害への保険・復興体制の整備
- 感染症の北上・拡大に備えた医療体制

この 2 つはよく「ブレーキとシートベルト」に例えられます。

ブレーキ（CO₂削減）だけでは事故をゼロにはできず、シートベルト（適応策）がなければ被害が拡大します。